

水害時の衛生対策と消毒方法

1 衛生対策と消毒の必要性

台風や大雨等により浸水が起きた場合には、下水道の汚水等が逆流し、家屋等が汚染される可能性があります。細菌やカビの繁殖、害虫の発生等で不衛生な状態となります。その場合、復旧のためには家屋等の洗浄や消毒が必要です。

2 家屋等が浸水した場合

路面が冠水しない状況で、雨水が浸水した場合は、水道水でよく洗浄すれば衛生対策として十分ですが、地域の状況によっては汚水が混入する可能性もありますので、その場合は消毒作業が必要となります。

(1) 床下浸水の場合

- ・家の周囲や床下等にある不要なものや汚泥等を片付けてください。
- ・床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気する等、乾燥に努めてください。

(2) 床上浸水の場合

- ・家の周囲や床下等にある不要な物や汚泥などを片付けてください。
- ・床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気する等、乾燥に努めてください。
- ・水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ・汚れた家具や床・壁等は、水で洗い流すか、雑巾で水拭きする等してから消毒してください。
- ・食器類や調理器具等は、水洗いして汚れをきれいに洗い流し、消毒してください。
- ・食器棚や冷蔵庫等は、汚れをきれいに拭き取り、消毒してください。

3 復旧作業時の注意事項

- ・作業による汚れには、色々な細菌等が混在しているため、洗浄、消毒に従事する際は、怪我しないよう防護し、従事後はきちんと手洗いをしてください。
- ・作業中に怪我をしてしまった場合は、傷口をきれいな水で洗い流し、出血が多いときには清潔なタオルや布を当てて圧迫止血し、医療機関を受診してください。

4 食中毒、感染症の予防

浸水被害があった地域では、衛生環境が一時的に不良な状態となり、細菌性の下痢等の感染症や食中毒が発生しやすい状況になります。

- ・汚水等で汚染された井戸や受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
- ・水道水に異常を感じた場合はお住まいの地区の水道局営業所に連絡してください。
- ・水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。
- ・体に異常を感じたら早めに医療機関を受診してください。
- ・食事前や排泄後等はしっかりと手洗いしてください。飲食前や病人の世話、赤ちゃんの世話をするときには必ず石けんをつかった流水での手洗いをしてください。やむなく井戸水等を使用する場合は、煮沸させてから使用しましょう。

5 消毒方法

消毒薬は過剰に使用すると、人の健康や環境へ悪影響を与えることがありますので、必要最小限としましょう。

消毒対象	消毒薬	消毒方法	注意事項
屋内 汚水に浸かった壁や床、家財道具等	逆性石けん液 10%（使用濃度：0.2%） 水 10L（バケツ等）に逆性石けん 10% 200ml（カップ 1 杯）を加える。 ※消毒薬の 50 倍の水で薄める。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾等で水拭きしてから、希釈した消毒薬を浸した布等で拭く。 ただし、ゴム製品への使用は避ける。	・換気し、ゴム手袋、マスクなどを着用して、皮膚や目にかからないように注意しましょう。 ・皮膚についた場合は、大量の水と石けんでよく洗い流し、目に入った場合は、水で 15 分以上洗い流した上で医師の診察を受けましょう。 ・他の消毒薬や洗剤等と混合・併用しないでください。 ・使用する直前に希釈し、希釈濃度を守ってください。 ・次亜塩素酸による消毒で色落ちする場合がありますのでご注意ください。
	次亜塩素酸 Na（家庭用漂白剤）6%（使用濃度：0.1%） 水 10L（バケツ等）に次亜塩素酸ナトリウム 6%200ml（カップ 1 杯）を加える。 ※消毒薬の 50 倍の水で薄める。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾等で水拭きしてから、薄めた消毒薬を浸した布等で拭いた後、水拭きして消毒薬を取り除く。ただし、金属製品への使用は避ける。	
床下 家の周り	消石灰 ※乾燥しにくい床下、下水が逆流した場所等へ使用 ※目に入らないように注意してください。また、皮膚につくとやけどするので注意してください。 ※消石灰は水との接触で発熱するので注意。	家の周囲や床下等に、不要なものや汚泥等を片付け、水がない状態にした後、表面がまんべんなく白く覆われる程度の量（300g/m ² ）の消石灰を散布する。	
	次亜塩素酸 Na（家庭用漂白剤）6%（使用濃度：0.1%） 水 10L（バケツ等）に次亜塩素酸ナトリウム 6%200ml（カップ 1 杯）を加える。 ※消毒薬の 50 倍の水で薄める。	家の周囲や床下等にある不要なものや汚泥等を片付け、床下は水がない状態にした後、じょうろ等で散布する。	

○日頃から、水害に備えて必要な物品を用意しておきましょう。

一般的には、ノロウイルスと同様の対応で良いです。
なお、床上浸水は逆性石けん、床下浸水は石灰が主です。

2016年8月29日 釧路保健所